
平成 26 年 9 月 25 日

「わが社の新製品、新技術」

お客様の課題を解決するソリューションをご提案

株式会社横河技術情報
システム部

1. はじめに

弊社では、お客様の様々な課題をお聞きし、お客様の状況に併せたご提案をさせていただいております。これまで、弊社が取り組んできた様々なソリューションの一部ではございますが、下記の内容をご紹介します。

- ① 更なる歩留り向上を実現するには
- ② 二次加工を含めた納期短縮を実現するには
- ③ トレーサビリティ対応を簡単に実現するには
- ④ 新加工機への CAD/CAM システムの対応は

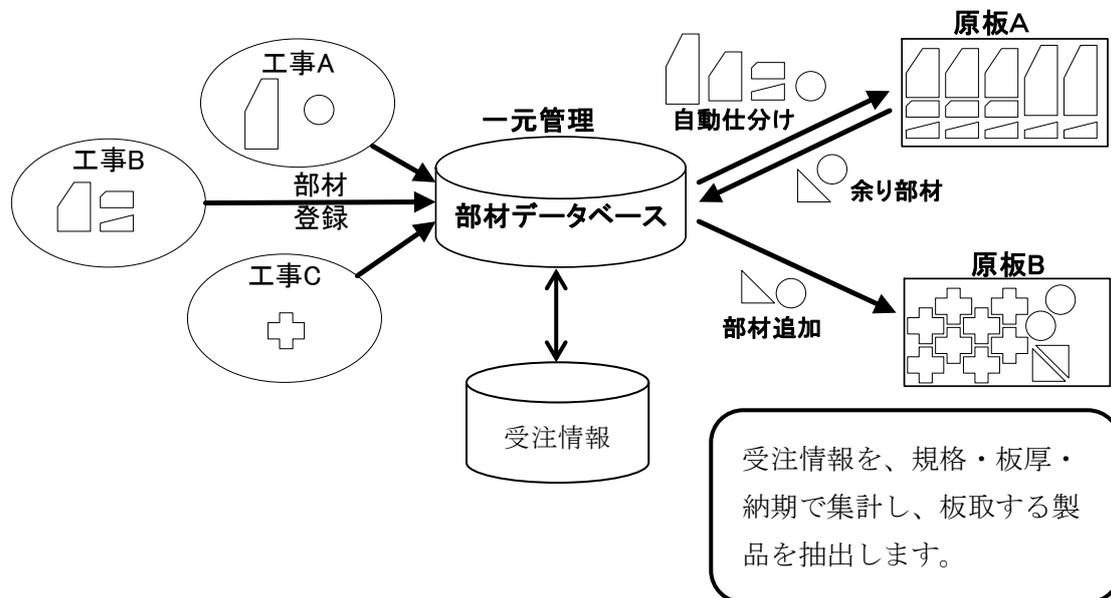
2. ソリューションのご紹介

2.1. 更なる歩留り向上を実現するには

歩留り向上は、「小ロット/短納期」工事が増えている中で難しい課題ではありますが、弊社では、歩留り向上に向けた次の様な取り組みを行っています。

- ① 板取する際には、より多くの製品（複数工事を対象）を対象にする
複数工事の製品を、一元管理し仕分け作業をおこないます。1回のネスティング処理量を適正化することで、歩留りの向上を図ります。
お持ちの CAD/CAM システムと組み合わせてご利用可能です。

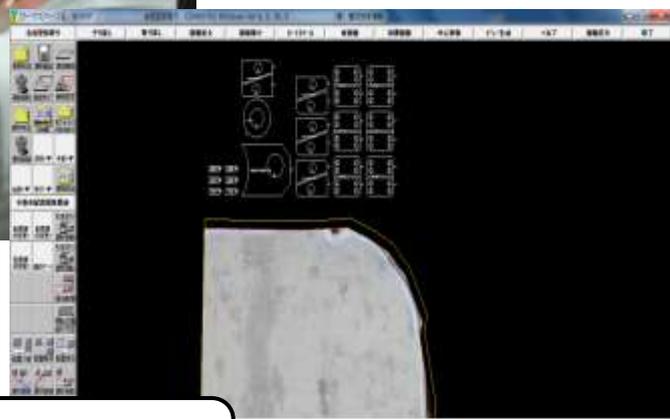
<複数工事管理イメージ>



- ② 異形状残材へは、写真撮影した画像を見ながら板取する
 発生した異形状端材に対して、歩留りよく板取します。撮影された画像を見ながら、
 板取することで、歩留りの向上を図ります。



残材をタブレットで撮影



矩形・階段形状の残材と併せて管理します。
 お持ちの CAD/CAM システムとの連携も可能です。

CA*にて板取

2.2. 二次加工を含めた納期短縮を実現するには

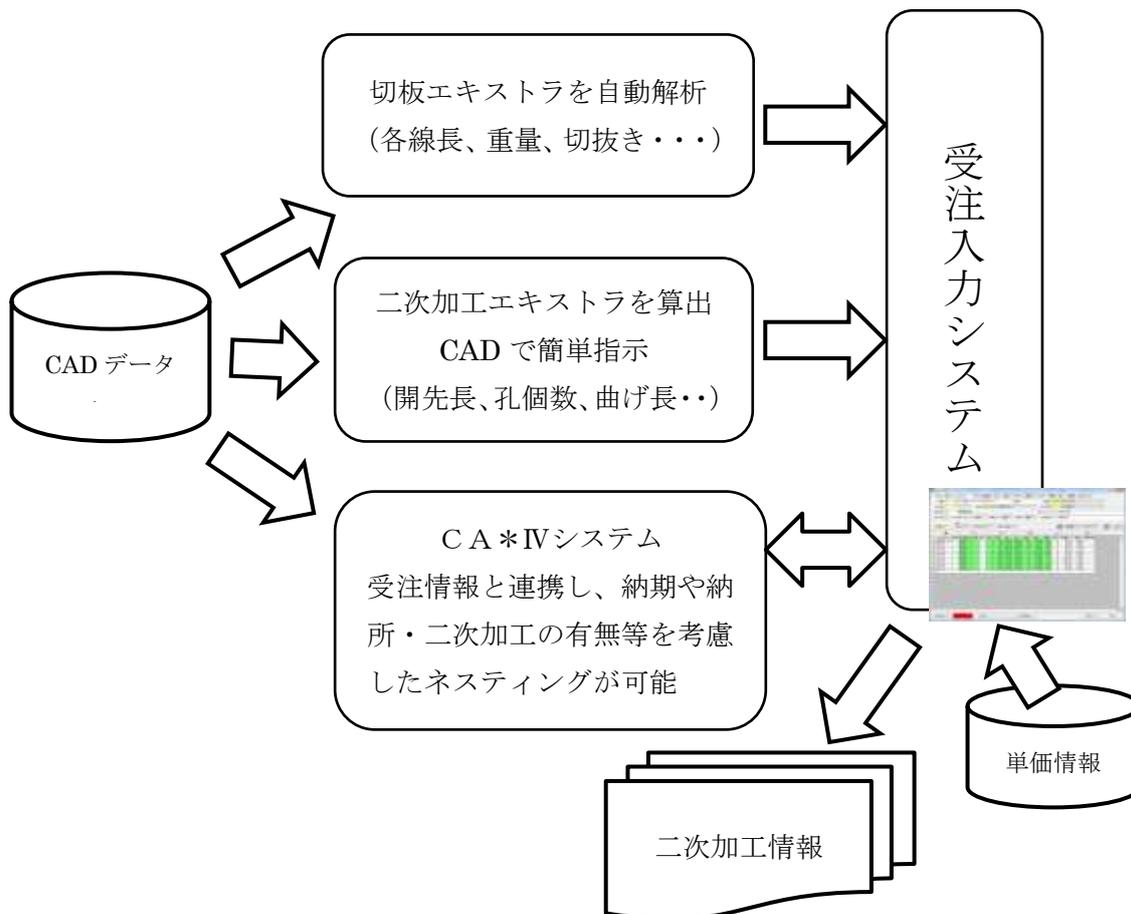
切板加工のみから二次加工を含めた受注が増え、短納期での対応が求められています。納期短縮を実現するには、二次加工を含めた工程計画をたてその進捗及び実績を正確に把握する必要があります。また、二次加工は工場や外注への指示ミス・指示忘れ等おこりやすいトラブルを未然に防ぐことも必要です。

弊社では、「素早く・簡単・正確に」をキーワードに工程計画策定から進捗確認、受注情報と連携した二次加工情報の管理などおこなっています。

①二次加工を含めた受注情報管理

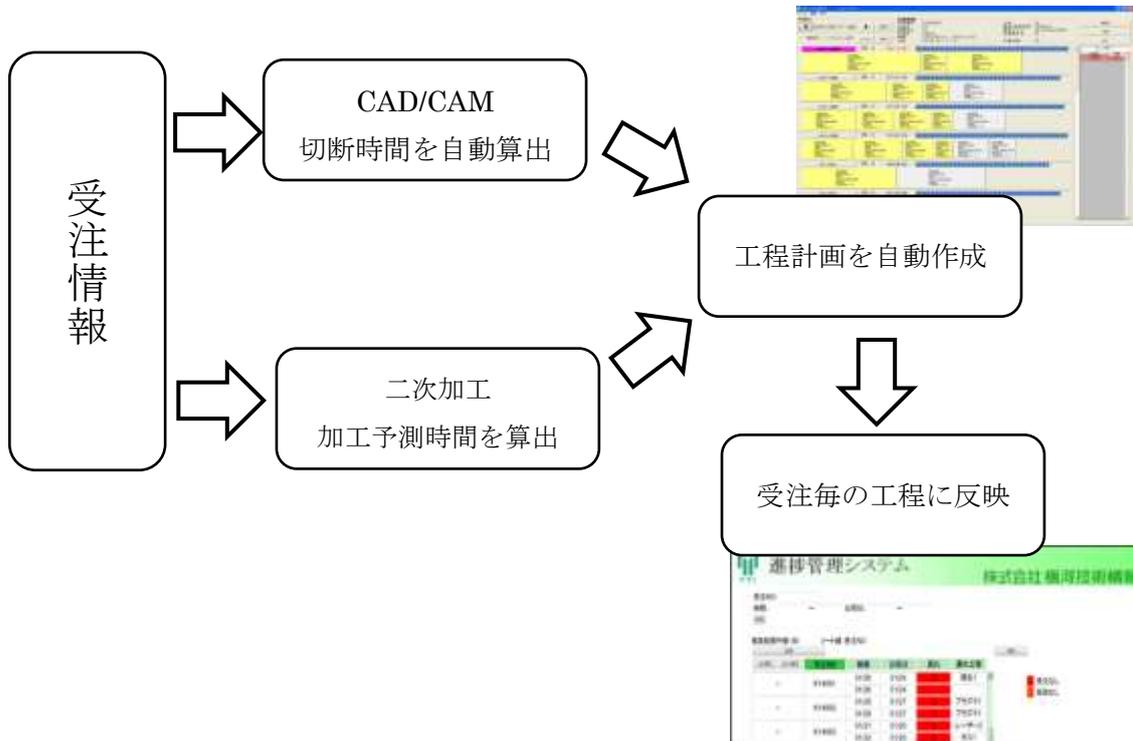
二次加工は、CAD を使い簡単に二次加工情報を収集し、受注情報と連携します。切板については、自動でエキストラを算出します。受注情報は、算出したエキストラと需要家毎の単価表を基に二次加工を含め、価格を自動計算しています。

二次加工指示書を出力できますので、工場や外注への指示忘れ・指示ミスの防止につながります。



②受注の山積み状況から2次加工を含めた工程計画作成

受注情報と連携し、二次加工を含めた工程計画を作成できます。工程計画を作成することで、使用材料の事前準備が可能になり工期短縮にもつながります。



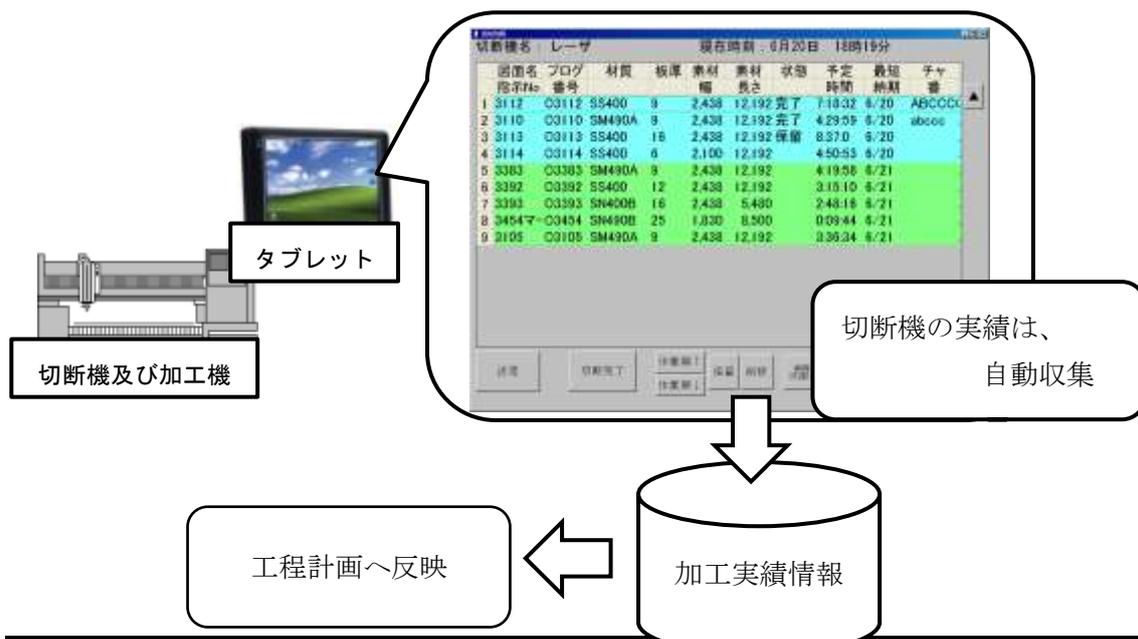
< 工程計画画面 >



<受注毎工程画面>

③二次加工を含めたリアルタイムな進捗の把握

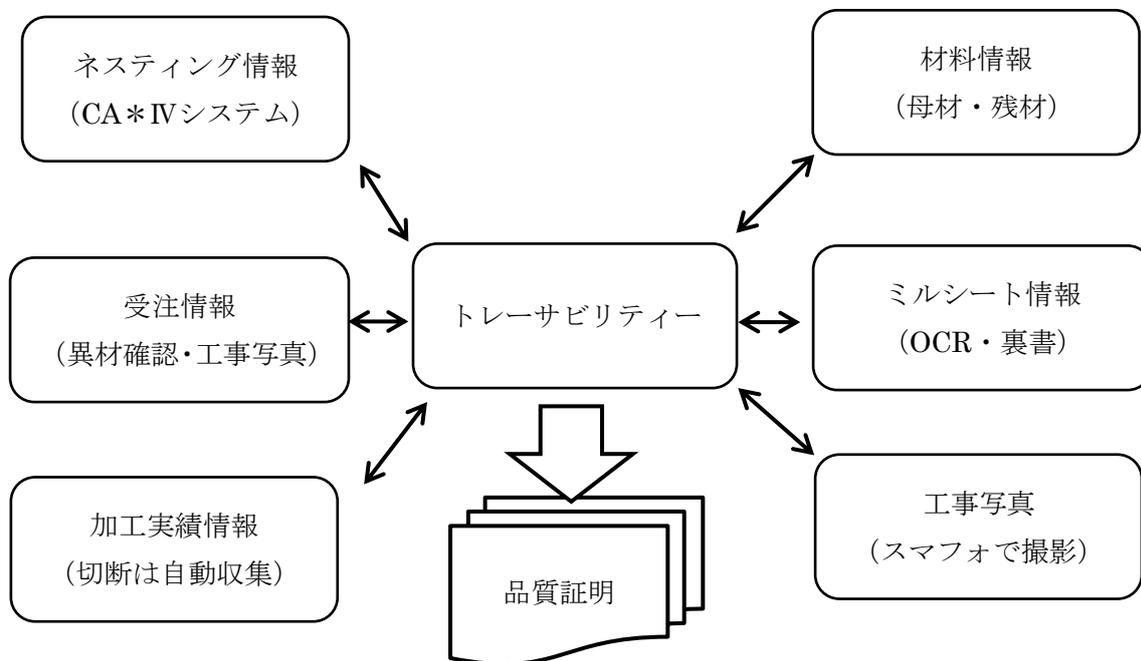
作成された工程は、タブレットに表示されます。作業が終われば、切断は自動で実績を収集します。二次加工はタッチ操作で実績登録ができ、それぞれ工程計画へ反映されます。受注毎・工程毎の進捗状況をリアルタイムに確認できます。また、どの製品がどの工程で遅れているかを確認も可能です。リアルタイムに進捗を把握し、次工程へのスムーズな指示をおこなうことで、納期短縮につながります。



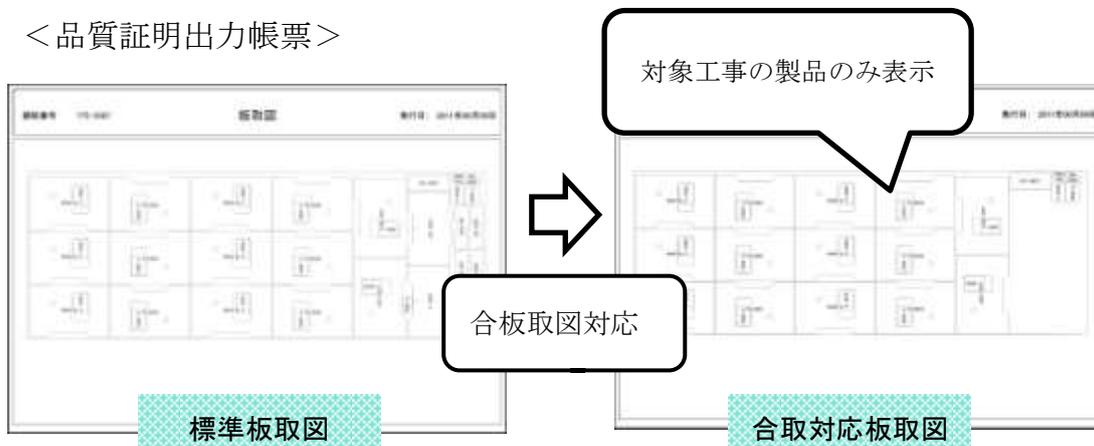
2.3. トレーサビリティー対応を簡単に実現するには

使用材料のトレーサビリティーは、年々要求が厳しくなっており、その対応に多くの時間が費やされています。

弊社では、トレーサビリティー対策として、鋼材の発注情報・在庫情報・使用実績・残材などの全ての情報を管理し、ガイドラインに準拠した資料を簡単に出力します。また、合板取（複数工事の製品を板取）に対応した板取図の出力も可能です。その他、工事写真、ミルシート（裏書機能あり）等、需要家からの要請に合わせた各種資料を出力できます。加工前に異材をチェックし異材混入防止対策・写真撮影忘れ防止などの対応もおこなっています。



<品質証明出力帳票>





＜工事写真管理＞

スマートフォンにて撮影します。撮影された写真は、自動的に工事毎に整理します。



＜異材対策及び指示伝達ミス防止対策＞

工場で加工前に、使用材料とNCデータの規格・板厚等のチェックをおこない異材切断を防止します。写真を撮影し忘れた、指示を見落としていた等の防止として、工場担当者が、写真撮影や指示事項の確認をおこなうまでは、NCデータを切断機へ送信できません。



2.4. 新加工機の CAD/CAM システムの対応は

各機械メーカーから様々な加工機が発売されています。これら加工機は導入すれば動くものではなく、CAD/CAM システムの対応が重要です。

弊社では、CA*IVシステムにて加工機の特性を考慮したデータが作成でき、データ作成時間の短縮を実現します。

<新加工機の対応>

- ファイバーレーザー切断機
- インクジェット方式の印字装置
 - 印字する文字を製品に自動追加（製品内に収まるよう自動で配置します）
 - 種板のみ印字機能（原板に同じ製品が複数板取されている場合、1枚のみに文字を追加します）
- 開先加工機（Y開先）の対応
 - 開先角度を考慮した、切断情報追加及び切断経路を自動で作成します。

3. 最後に

弊社では、お客様のニーズをお聞きしご提案させていただいております。これからも、お客様のよきパートナーであり続けられるよう努力してまいります。

弊社ホームページ (<http://www.yti.co.jp>) にも、各種システムを紹介しております。ぜひご覧いただければ幸いです。また、ご相談・ご質問等なんでもかまいません。弊社営業までお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

連絡先：TEL 047-435-6108 E-Mail : camfa_customer@yti.co.jp

営業担当：中澤、福島

以上